

令和3年3月2日
JA中野市営農センター
JA中野市プラム部会

本年も暖冬傾向で推移しており、平年よりも生育が早まると予想されます。
春季は気象変動が激しく、品種・地域によって生育の開きが大きいので、園地状況を確認し適期防除に努めましょう。

(平岡定点) 太陽 発芽日

平 年	H27	H28	H29	H30	R1	R2
3/24	3/22	3/18	3/27	3/23	3/22	3/11

1. 薬剤散布

- 特別散布 (休眠期：3月初旬～ 圃場での防除体制が整い次第)

① カイガラムシ類 対策 ⇒ スプレーオイルの30倍を散布する。

② ふくろみ病 対策 ⇒ ホーマイコートの100倍を散布する。

*ホーマイコート(1kg 1,650 円)をご購入の際は、資材渉外担当または営農資材店へご連絡下さい。

【第1回 定期防除】 対象病虫害：(ふくろみ病)・(胴枯病)・カイガラムシ類

散布時期	発芽前 ・プラム : 3月上旬～ (右写真 参照) ・プルーン : 3月中旬～	プラム「ふくろみ病」防除時期  花蕾が開き始めるまでに散布する。
散布薬剤	水 90ℓ 展着剤 10ml 石灰硫黄合剤 10ℓ	散布日 ____月 ____日 散布量 ____ℓ
散布量	300ℓ / 10a	
注意事項	*他の園地、隣接するハウスのビニールにかからないよう散布する。 ①【代替】 石灰硫黄合剤に代えて、トレノックスフロアブル500倍(14日前、3回)を使用してもよい。(展着剤はアピオンEの1000倍を使用する) ②【ふくろみ病 対策】 休眠期にホーマイコートの特別散布を実施していない園地は、発芽後3～5日頃、トレノックスフロアブル500倍(14日前、3回)を特別散布する。	

2. 重要病害虫

① ふくろみ病

越冬場所：樹上（主に芽の周辺）

防除対策：石灰硫黄合剤、殺菌剤の散布。被害果実の除去。

防除適期：発芽前、花蕾が開き始めるまでに（休眠期および第1回定期散布）

ふくろみ病 被害果実



ふくろみ病 感染開始期(花蕾が開き始めた頃～)



この頃から、降雨
により感染する。

② ウメシロカイガラムシ

越冬場所：樹上（主に枝の表面）

防除対策：①マシン油乳剤（スプレーオイル）、殺虫剤の散布

②ブラシで擦り落とす。被害枝を切除する。

防除適期：休眠期（スプレーオイル散布）、5月中下旬（殺虫剤散布）

ウメシロカイガラムシ越冬成虫



（白い殻を剥がすと
オレンジ色の成虫が見える）

